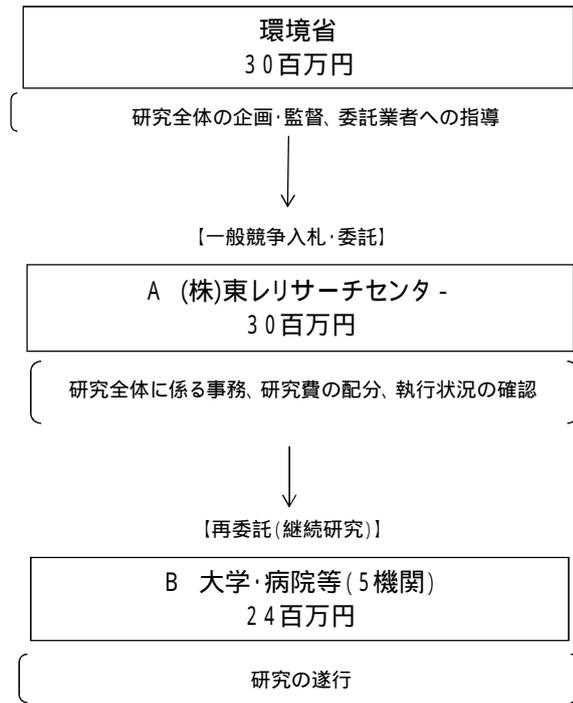


平成25年行政事業レビューシート (環境省)

事業名	イタイタイ病及び慢性カドミウム中毒に関する総合的研究		担当部局	環境保健部		作成責任者			
事業開始・終了(予定)年度	平成13年度～		担当課室	企画課保健業務室		近藤 恵美子			
会計区分	一般会計		政策・施策名	7 環境保健対策の推進 7-1 公害健康被害対策(補償・予防) 9 環境政策の基盤整備 9-3 環境問題に関する調査・研究・技術開発					
根拠法令(具体的な条項も記載)	-		関係する計画、通知等	-					
事業の目的(目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	イタイタイ病に関しては、カドミウムばく露により近位尿管機能異常が生じることは明らかになっているが、腎障害や骨軟化症の発症機序、カドミウムばく露との因果関係等については未だ十分に解明されていない。本業務は、イタイタイ病に関する知見を収集・整理するとともに、カドミウムの生体内動態や生体影響等のメカニズムの解明を図るなど、イタイタイ病及び慢性カドミウム中毒等に関する総合的な研究を行い、カドミウムによる健康影響とその自然史を解明するための各種知見を得ることを目的とする。								
事業概要(5行程度以内。別添可)	「イタイタイ病患者や汚染地域を対象とした研究領域」及び「カドミウムの吸収・毒性メカニズムの解明に関する研究領域」の2つの領域において、研究内容に応じて6つの研究班を設置し、臨床的、基礎的な研究を実施している。本事業の推進にあたり、業者に委託し、研究費の配分等を行っている。 現在の研究内容は以下の通り。 ・カドミウム汚染地域における近位尿管障害と生命予後等に関する疫学研究 ・カドミウム汚染地域の骨代謝異常及びイタイタイ病関連資料に関する研究 ・カドミウムにより近位尿管機能異常に関する研究 ・カドミウムばく露によるリン代謝異常に関する研究 ・Toxicogenomicsアプローチによるカドミウムの毒性発現のメカニズム解明に関する研究 ・Toxicogenomicsアプローチによるカドミウムの輸送のメカニズム解明に関する研究								
実施方法	直接実施	委託・請負	補助	負担	交付	貸付	その他		
予算額・執行額(単位:百万円)			22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求		
	予算の状況	当初予算	42	37	34	34	33		
		補正予算	0	0	0	0			
		繰越し等	0	0	0	0			
	計		42	37	34	34	33		
	執行額		28	31	30				
執行率(%)		67%	84%	88%					
成果目標及び成果実績(アウトカム)	成果指標			単位	22年度	23年度	24年度	目標値(年度)	
	本事業は、第三者により構成される研究評価・推進委員会での議論を踏まえて、現在6つの研究班の研究を支援しているが、研究活動を行ううえで定量的な指標を設定することは、各研究班の学術研究分野を限定することになるため困難である。			成果実績					
			達成度	%					
活動指標及び活動実績(アウトプット)	活動指標			単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込	
	学術研究は、真理を探究し、新たな知を創造するものであり、それを支援する本事業では定量的な指標を設定することは困難であるが、参考までに研究班が発表した論文数や学会活動の状況の合計を右に記載する。			活動実績	論文発表	31	32	13	
					学会発表	55	52	22	
単位当たりコスト	-(円/)			算出根拠	活動指標及び活動実績として取上げて上記に掲載したが、一般的に各論文等を一本当たりの単価として単純に算出することは困難であると考えている。				
平成25・26年度予算内訳	費目		25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由				
	公害調査等委託費		34	33					
	計		34	33					

事業所管部局による点検						
	項目		評価	評価に関する説明		
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。		-	イタイタイ病は神通川流域における公害健康被害であり、慢性カドミウム中毒も一部の地域に限られるが、民間の研究機関等では対象とされないため、国が実施する意義は非常に大きいと考えられる。		
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。					
事業の効率性	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。			委託業者の選定においては一般競争入札としている。また研究課題の選定や研究内容の評価等については、推進委員会、評価委員会を組織し、第三者の評価を受けることとしている。		
	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。					
	受益者との負担関係は妥当であるか。					
	単当たりコストの水準は妥当か。		-			
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。					
事業の有効性	費用・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。			研究の性質上、定量的な目標や成果については設定が困難であるが、カドミウムによる健康被害について基礎的研究、臨床的研究をバランスよく実施している。		
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		-			
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。					
重複排除	活動実績は見込みに見合ったものであるか。					
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。					
	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		-			
重複排除	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名			
点検結果	本研究事業で実施した各研究班は、外部委員により評価をうけるシステムとなっており、その結果を踏まえて研究継続の可否、研究内容の変更等を行っている。カドミウムによる健康影響といった国が取り組むべき課題について、効率よく研究が行われている。					
外部有識者の所見						
点検対象外						
行政事業レビュー推進チームの所見						
現状通り	健康影響等の解明に向けて引き続き効果的かつ効率的な研究を行うこと					
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
現状通り	健康影響等の解明に向けて引き続き効果的かつ効率的な研究を行う。					
備考						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
	平成22年	290	平成23年	228	平成24年	237



資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位:百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

A.(株)東レリサーチセンタ -					
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
外部委託	委託先: 萩野病院 カドミウム汚染地域住民の骨代謝異常及びイタイイタイ病関連資料に関する研究	7			
外部委託	委託先: 金沢医科大学 カドミウム汚染地域における近位尿細管障害と生命予後等に関する疫学研究	5			
外部委託	委託先: 愛知学院大学 Toxicogenomicsアプローチによるカドミウムの毒性発現のメカニズム解明に関する研究	4			
外部委託	委託先: 徳島文理大学 Toxicogenomicsアプローチによるカドミウムの輸送のメカニズム解明に関する研究	4			
外部委託	委託先: 富山市立富山市民病院 カドミウムによる近位尿細管機能異常ならびに慢性腎臓病に関する研究	4			
人件費	研究発表会等の準備、研究報告書の作成に係る人件費	4			
その他	報告書に係る印刷製本費、一般管理費、消費税	2			
計		30	計		0
B.萩野病院					
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
研究費	カドミウム汚染地域住民の骨代謝異常及びイタイイタイ病関連資料に関する研究	7			
計		7	計		0
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)東レリサーチセンター	研究全体に係る事務、研究費の配分、執行状況の確認等業務	30	3	88.2%

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	萩野病院	カドミウム汚染地域住民の骨代謝異常及びイタイイタイ病関連資料に関する研究	7	-	-
2	金沢医科大学	カドミウム汚染地域における近位尿管障害と生命予後等に関する疫学研究	5	-	-
3	愛知学院大学	Toxicogenomicsアプローチによるカドミウムの毒性発現のメカニズム解明に関する研究	4	-	-
4	徳島文理大学	Toxicogenomicsアプローチによるカドミウムの輸送のメカニズム解明に関する研究	4	-	-
5	富山市立富山市民病院	カドミウムによる近位尿管機能異常ならびに慢性腎臓病に関する研究	4	-	-